

創業100周年の企業紹介



取締役社長 加藤賢治氏

株式会社松阪鉄工所

創業 ● 大正5年11月

所在地 ● 津市高茶屋小森町1814

代表者 ● 取締役社長 かとうけんじ 加藤賢治

事業内容 ● 作業工具・配管機器の製造、MC治具の設計製作及びラインの立上げ

これまでのあゆみ

大正5年11月	初代社長 安西友吉 安西鑄造所創設
大正15年7月	松阪鑄鋼所(Matsuzaka Cast steel & Co)に改称
昭和3年7月	パイプレンチ、ボルトクリップの生産に着手
昭和6年3月	「MCC」の商標生まれる
昭和27年11月	株式会社松阪鉄工所に組織変更
昭和32年8月	松阪商事株式会社(現MCCコーポレーション)設立
昭和35年2月	松阪工具株式会社設立
昭和35年9月	工作機械の製造開始
昭和42年1月	可鍛部門を除き全部門津工場に移転
昭和44年8月	可鍛部門独立 松阪可鍛株式会社設立
昭和50年1月	社団法人中小企業研究センター 全国表彰受賞
昭和51年6月	作業工具輸出専門商社 サンジャックツール株式会社(現MCCインターナショナル株式会社)設立
昭和54年4月	MCC U.S.A.,INC. ロサンゼルスに設立
昭和58年10月	現MCC商標ロゴ制定
昭和60年8月	精機部門設立 治具分野へ進出
平成4年3月	電動パイプレンチ「ラッカル」中小企業優秀新技術・新製品賞受賞
平成10年10月	VU管カッター グッドデザイン賞受賞
平成20年5月	ISO9001認証取得

●経営理念

当社は、「価値ある商品・サービスを創造し、豊かな社会の実現に貢献する」、「仕事を通じてお互いが豊かになり、人として光り輝く舞台をつくる」を経営理念として

います。創造性を発揮して社会の発展に貢献していくことの中に人としての幸せがあるという思いがここに込められています。



松阪鉄工所全景

●当社の事業内容

当社には大きく分けて2つの事業があります。1つは、作業工具、電動工具、配管機器の開発および製造です。建設や配管、電設に使用される主にプロ向けの工具・機器を開発し、一貫生産しています。国内を始め、世界50ヶ国以上の国で当社の製品が使用されています。もう1つは、工作機械周辺機器の設計および製作です。



作業工具組立

マシニングセンターと呼ばれる工作機械で切削加工を行なう際に加工物(ワーク)を固定する治具を、お客様のご要望に沿った形で設計・製作します。また、マシニングセンターのボタンを押せば、直ぐに要求精度を満たした加工を開始できる状態までセットアップするターンキーと呼ばれるサービスも行なっています。

●無人連続運転を支える治具

近年、マシニングセンターとロボットを組み合わせて、無人連続運転を望まれるお客様が増えました。無人連続運転では、不具合による停止が起きない生産設備を作ることが大事であり、切削加工においては治具の出来が重要なカギとなります。当社では工具・機器の製造で培ったノウハウを活かし、無人連続運転に適した治具の設計・製作に力を入れています。



ロボット

●100周年を迎えて

メーカーの本質である「モノづくり」に注力したいと考えています。自分達の得意とするところを更に磨き、より使いやすく、間違いのない、安心して使って頂ける製品づくりをしていきます。選んで良かった、間違いなかったと喜んで頂ける信頼される企業、信頼されるブランドを目指していきます。